



日本サーバス本部会報

2019. 12 日本サーバス会長

今年もいつの間にか師走を迎える頃となりました。異常気象による災害が多く起こった今年ですが、会員の皆様はどのような1年を過ごされたでしょうか。どうか大きな事故もなく良い日々を過ごされた事を願っています。

私の住む京都の東福寺は紅葉の名所として有名です。又、毎年 Trip Advisor で1位になる伏見稲荷大社も近くです。このように京都市には名所旧跡が多く、年中観光客で賑わっています。数年前は桜の季節は宿が取れない事がありましたが、今は民泊やホテルが増え、そのような声は聞きません。しかし、反対に観光客が多すぎて、違法民泊、市バスが混み過ぎて乗れない、舞妓さん等で有名な花見小路では個人の家が覗かれたり、道路に寝転ぶような姿勢で写真を撮ったり等の困った問題も起きていて、観光客誘致に力を入れていた京都市が「市民生活と調和した持続可能な観光都市推進プロジェクトチーム」を設置する所まで来ています。反対に地方のサーバス会員の所に行くと、日本の原風景のような良さがある等、有名でなくてもとても素敵です。サーバスがトラベラーに各地の色々な良さを体験してもらえるようになれば良いと思います。

今年最後の本部会報発行にあたり、いつもサーバスの活動を支えご協力頂いている皆様の上に、良き2020年が訪れますように心から願っています。

今回の会報は、次の内容でお届けします。

1. 支部での取り組み

サーバス台湾・台北支部との交流会（関東で開催の部）報告・・・関東支部長
投稿記事 facebook「Servas International」・・・台北会員

2. 国際サーバス会報等の紹介・・・国際部 N.M

SERVAS INTERNATIONAL NEWS BULLETIN

2018 SERVA S INTERNATIONAL ANNUAL REPORT

編集後記にかえて・・・サーバス会長

1. 支部での取り組み

サーバス台湾・台北支部との交流会（関東で開催の部）報告

関東支部長

今年新たにスタートしたサーバス台湾・台北支部との交流会は、プログラムに従い11月に先ず台湾からのメンバー9名（全員女性）が来日。日本での交流会日程は11月14日から17日の3泊4日で、ペアを組まれた関東支部メンバー7名がホストしました。今回の日程は通常ホストが引き受ける2泊3日と全体での合宿・交流会（参加者各自の費用で宿泊）の1泊2日を合



わせた3泊4日となっています。

14日～17日 ホスト宅でトラベラー（ゲスト）との交流

1. T宅にGさんがホームステイ



Gさん、この交流会の台北側の担当者。大学で英語の講師。初日に日本文化の一つ銭湯を案内、家族で営んでいる居酒屋で焼き魚、ゴボウの唐揚げなどの和食と一緒に。17日は家の周囲を巡るサイクリングロードで自転車。18日と19日は小江戸の町川越と谷川岳

ハイキング・温泉を案内。とても楽しい一時でした。

2. Iさん宅にAさんとLさんがホームステイ

14日午後2時にI宅に着いたので、すぐに出かけて、東京駅と銀座を歩いた。Lさんは前から来ていて、3日間バス観光をしているので、朝から出かけて江の島水族館へ行き、ゆっくりして鎌倉駅でみなさんと合流した。17日Lさんは富士河口湖へ、Aさんはデズニールランドへ向かい翌日離日した。



3. Mさん宅にTさんがホームステイ



台湾では『天ぷら』という言葉は我々日本人が『おでん』と呼んでいるのを指すそうです。第一夜の晩御飯に『おでん』を出したら、『台湾でも天ぷら食べます』と言われ、メニュー到天ぷらは入ってなかったので、一瞬何のことかわかりませんでした。台湾に日本の食文化がはいる過程で起きた言葉と実体とのずれですね。日本語の『ブリキ』は英語のレンガ(brick)が入っていた金属の箱に『brick』と書いてあったことから誤解の元だったと言われていますが、『おでん』が『天ぷら』という名前が変わったいきさつは何だったのか、考えると色々想像ができて楽しいですね。

近所にある銭湯に出かけ、そこでゆったりと、1時間も過ごしました。台湾でも人気のアンパンマン、ただし、『横浜アンパンマン子供ミュージアム』には子供を連れないおばさん2人組は他にいませんでした。

4. Sさん宅にPさんとSさんがホームステイ

1日目は調布市にある都内で浅草寺について古い深大寺と神代植物園へ。紅葉と深大寺そば、満開の秋のバラ、温室の蘭や水蓮等を楽しみました。鎌倉散策の翌日は、Mさん宅にステイしたTさんも加わり高尾登山。山頂の昼食は、朝Pさん、Sさんと一緒に作ったおむすびでした。富士山を望みながら山頂の売店のおでんをおかず美味しくいただきました。Tさんも加わった最後の夜は手作りの梅酒を飲みながら、それは賑やかでした。＜感想＞3人はとても明るく元気でした。



5. Ts さん宅に J さんと B さんがホームステイ



定刻の午後 2 時 15 分に駅に迎えに行くと、すでに J と B は到着していました。とても楽しい二人で、台湾と日本の文化の違いを教えてもらいました。台湾では昔は、おもてなしの食事を振舞われると、少々残しておくのがエチケットと言われていたそうですが、今は環境問題もあり、そんなことは無いそうです。

6. O さん宅に H さんがホームステイ

H さんは事前に台湾式やきそばを作るからと申し出てくれました。もちろん私は大歓迎でお願いしました。14 日我が家に着くと、食材の買い物に行くのかと思っていたら大きな新竹ビーフンの袋を取り出し「卵はある？ 肉は？ 野菜は？ ネギは？」と冷蔵庫にあるもので、持参の調味料（たぶん魚醬、お酒、たっぷりの干しエビ）でトントントンチャチャーとあっという間に美味しい台湾式ビーフンを作ってくれました。いつも台北の自宅では 7 人分の食事を短時間で 5, 6 品作っているとのこと。1 月 H さんの家に泊めてもらいますが、食事が楽しみです。



15 日 逗子マリーナで合宿・交流会



交流会プログラムに参加されたホスト・トラベラー全員と途中参加のアラスカ在住 C さんと台北市から K さんが参加され総勢 18 名での交流会となりました。

夕方 6 時から食事を兼ね交流会が開かれ、日本側から Tn、台湾側から G さんの挨拶から始まり、英語での自己紹介、サーバスについて思うところ等を述べ、8 時半ごろまで楽しく活発なお話が続きました。

16 日 関東支部の秋の親睦会“鎌倉散策”に合流

鎌倉散策（幹事 Y さん）に合流し、10 時 JR 鎌倉駅を出発し、鶴ヶ岡八幡宮、建長寺、源氏山公園、銭洗弁天、大仏を周り 3 時半に現地解散。関東支部から 10 名（幹事の Y さん夫妻、K さん、Y さん、S さん、F さん、



Tk さん、Ts さん、Tk さんがこの日ディHOSTされているフランスからのご夫妻）に交流会 18 名が加わり総勢 28 名でのウォーキングとなりました。歩きながらの交流会、台湾の方々との交流はとても楽しい一時でした。



次は来年 3 月 19 日から 22 日台北市での交流会に参加します。

投稿記事 facebook 「Servas International」

台北会員

Nov.14~16, Servas in Kanto Japan, and Servas Taipei jointly held an Servas Exchange Program in Tokyo. 10 Taipei members were arranged to stay with 6 hosts in Tokyo area. During the period of time, travelers had more understanding about Japanese cultures and experienced local life. In addition to personal culture exchange and Servas experience sharing, we also had a meeting and outing with some other Japanese members in Kamakura. The event was very successful and memorable. Next March, some members from Japan will pay a return visit for bringing the exchange program to success. We look forward to another climax.



Special thanks to the organizers, Mr. Tn and Ms. G.

2. 国際サーバス会報等の紹介

国際部 N.M



サーバス国際本部より本年度第3号がとどきました。たくさんの記事が載っていますが、それらの中から幾つかの興味深いものを紹介しましょう。

- 1) サーバス国際本部には5つの委員会の他に16のチームがあり、100人以上のボランティアが活動しています。
- 2) ここ数年国際サーバスは地球環境の破棄を食い止めるために活動しています。例えば、2018年ソウルで開かれた国際会議では使い捨て食器を一切使わず、かつ食事の時は菜食のメニューのみでしたし、本会議では気候問題にもっと関心を向けようという議論がなされました。
- 3) 青年および家族委員会ではスペインとイタリアでそれぞれ国際大会を開催し、イタリアでは全員で海岸のごみ拾い作戦を展開し、フェイスブックで大きな反響がありました。イタリアの会場では文化の多様性、異なった民族の共存について活発な議論がなされました。
- 4) インドサーバスは約70年に及ぶ活動が認められ、同国で正式に合法的任意団体と認定されました。
- 5) 元サーバス国際本部会長のG.Sさんが8月5日に亡くなりました。



国際本部から 2018 年度の活動報告が届きました。100 頁を越す膨大な資料ですが前回と同じようにその要旨をご紹介します。

始めに会長のご挨拶があり、およそ次のような事が述べられています。「昨年度はサーバスが IT から SOL へと軸足を移した画期的な 1 年でした。全世界の会員同士つまりトラベラーとホストが SOL によって直接連絡ができるようになったのです。そして、東アジアの韓国で初めて国際会議を開き、SOL を更に広めるために尽力しようという取り決めがなされました。サーバスが時代に即応することによってその理念である世界平和の実現に向かって大きく踏み出すことが期待されます。とは言え、SOL を整備するためにはかなりの出費が必要で、従来のような運営では遠からず赤字経営になることが目に見えています。各国の組織ではこの事に鑑み、会員並びに収入の増強を図って頂けたらと願っています。それは決して不可能ではないと思います。何故なら会員が増えている国・地域があり、会員相互の信頼によって安価で旅行ができるという特典があり、それらのことから今後の発展が大いに期待できるからです。サーバス活動を通じて世界に平和を打ち立てる活動を広めましょう！」

次に国際本部の総括が載っていますが、前記の会長ご挨拶とダブりますので割愛し、三番目に国際本部各役員が自分たちの役割について説明し、昨年度どのような活動をしたか報告を載せています。

4 番目には各委員会からのレポートが載っています。委員会には「紛争処理委員会」「開発委員会」「ドルフィン・チーム」「情報・通信チーム」などがあります。

そして最後には、サーバス創設 70 周年記念行事を行った幾つかの国・地域の様子が写真付きで紹介されています。紹介されているのはイラン、メキシコ、スロヴェニア、イタリア、オーストリア、チリ、スペインなどです。

編集後記にかえて

サーバス会長

😊国際サーバスからのニュースを Nm さんに訳していただいたのが溜まっていますが、他に良い記事もなくどうしたものかと思っていた所、関東支部長さんから台湾との交流の原稿をいただきました。それで今回のニュースを発行することが出来ました。関東支部長さんにはとても感謝です。

😊本国会報 5 月号でご紹介した SERVAS INTERNATIONAL Making Connection Project のまとめが支部長さんを通じて皆様のお手元に届いていると思います。どの国がどんな事を提供出来るかが書かれています。ロングステイでいろんな国でいろんな体験をお楽しみください。併せて SERVAS INTERNATIONAL Making Connection Project についての日本での取り組みのお願いです。既に支部長さんには連絡していますが、支部、又は、支部の個人会員で出来る事を例会等で話し合ってください。近畿支部では Language Experience をしようと話し合われたそうです。

😊支部長さんには既にサーバススタンプの事を 12 月 4 日締め切りでお願いしました。それに続いて、支部活動や会計の報告をお願いする事になります。連絡が行きましたら、宜しく申し上げます。

😊私は会長として意欲的な仕事はしていませんが、何とか年末を迎えられるのは、偏に役員の皆様を始め、会員の皆様の大きなお支えのおかげと感謝しています。

来年もどうぞよろしく申し上げます。